

## 東京国際空港（羽田空港）周辺海域における 赤潮の発生状況について

### トピックス

東京国際空港（羽田空港）の4本目の新たな滑走路となるD滑走路の建設工事は、多摩川の通水性を確保するため栈橋形式を採用するなど(図1)、東京湾の水環境に与える影響を極力低減する施工方法で工事を進めています。また、工事による水環境への影響を把握する為に環境監視計画「工事中」に基づき環境監視を実施しています。

東京湾内における水環境の問題点のひとつに、夏季の赤潮発生の慢性化があります。東京都内湾における赤潮の年発生回数はここ数年夏季を中心に90日程度で推移しています(東京都環境局HP)。羽田空港周辺海域の環境監視においてもH19年度に52回、H20年度6月末までに20回の赤潮を目視にて確認しています(図2)。赤潮が確認された際の状況として、海表面の色が褐色に見え、透明度がおおむね1.0m以下、溶存酸素(DO)飽和度が150%以上、クロロフィルaが50µg/L以上の値が多く観測されています。

H20年5月23日の羽田空港周辺海域における植物プランクトンの調査結果では、採取された植物プランクトンのうち、珪藻綱*Skiffia*科の *Skeletonema costatum* (図3)が59%と、同じく珪藻綱*Eucampia*科の *Eucampia zoodiacus* (図4)が29%、計88%と高い割合で確認されました。そのため、上記2種の大量発生が羽田空港周辺海域における5月の赤潮の主な原因であることが示唆されます(過去の調査結果においても、*Skeletonema costatum* が最も多く出現しています)。

今後も環境監視を確実に実施するとともに、細心の注意を払って施工していきます。

赤潮：海域が富栄養化し、日照や温度などの条件が満たされると、植物プランクトンが大量発生し、海表面が変色する現象をいいます。

平成20年7月14日

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所

#### お問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所 D滑走路プロジェクト推進室 竹田・近藤・中島  
住所 東京都大田区羽田空港3-5-7 メンテナンスセンターアネックス5階  
電話 03-5756-6575  
HP <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/>



図1. 多摩川の通水性を確保するため栈橋形式

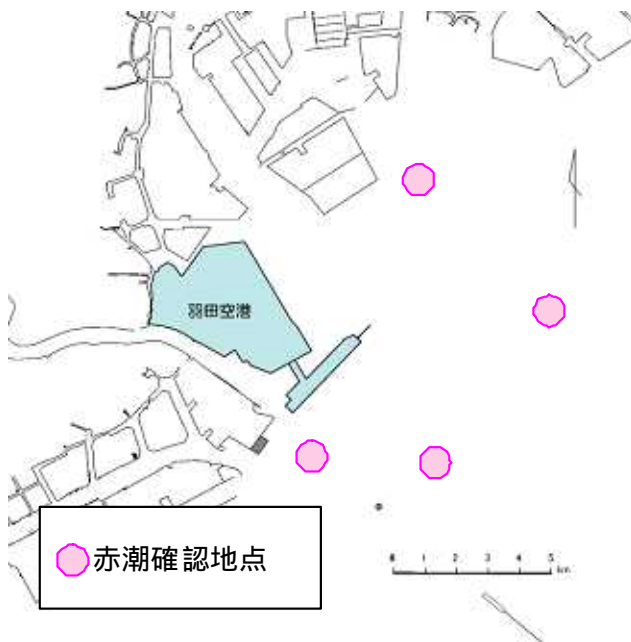


図2. H20年5月23日の赤潮確認地点



赤潮時の表層水の色相



図3. *Skeletonema costatum*

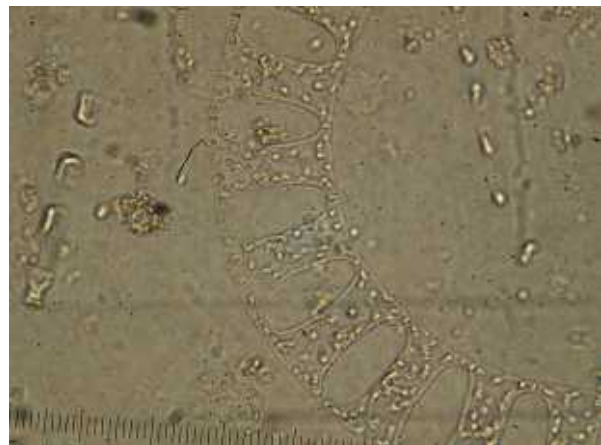


図4. *Eucampia zodiacus*